

参考様式第 3 0 及び参考様式第 3 3 の別添 3

市街地復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	★ D 17 - 11 - 6
要綱上の 事業名称	(19) 被災者へのコミュニティ活動支援事業
細要素事業名	新田神ノ沢集会所整備事業
全体事業費	52,791千円 (42,232千円)
<p>【事業概要、基幹事業との関連性】 釜石市鶴住居地区では、被災市街地復興土地区画整理事業（鶴住居）を導入してまちづくりを進めているが、被災した地域住民のコミュニティ活動を支援することを目的に、『(19) 被災者へのコミュニティ活動支援事業』として、集会施設を整備するものである。</p> <p>■【業務概要】</p> <p>1 施設概要</p> <p>①施設名称 新田神ノ沢集会所</p> <p>②整備箇所 釜石市鶴住居町第 1 2 地割 (用地は被災市街地復興土地区画整理事業（鶴住居）で整備のため購入不要)</p> <p>③構造 木造 2 階建の 2 階部分</p> <p>④床面積 155.61m² (延床面積299.90m²：1 階は消防屯所144.29m²・2 階部分が集会所155.61m²) 内訳 会議室(大)：49.686m² 会議室(小)：41.405m² 湯沸室11.57m² ホール・廊下・階段・トイレ・収納：52.949m²</p> <p>2 業務内容</p> <p>実施済</p> <p>①設計費 4,830千円</p> <p>今回要望</p> <p>②工事監理費 1,904千円 ③建設工事費 45,349千円 ④外構工事費 708千円 今回要望額合計 (②～④) 47,961千円</p> <p>全体事業費 52,791千円</p> <p>3 事業実施期間 平成 2 8 年 8 月 1 5 日～平成 3 0 年 2 月 2 8 日 ※設計完了：平成 2 9 年 2 月 2 8 日 ※着工予定：平成 2 9 年 8 月 1 日</p>	

※ この様式は、原則として、参考様式第 2 0 及び参考様式第 2 3 の別添 2 に記載した細要素事業ごとに作成してください。

※ 「全体事業費」は、細要素事業（当該細要素事業と一体不可分な事業を含む。）について、全体事業期間を通じての全ての事業費を記載して下さい。

※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。

参考様式第 3 0 及び参考様式第 3 3 の別添 3

市街地復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	★ D 23 - 5 - 5
要綱上の 事業名称	(19) 被災者へのコミュニティ活動支援事業
細要素事業名	箱崎集会所整備事業
全体事業費	86,724千円 (69,379千円)
<p>【事業概要、基幹事業との関連性】 釜石市箱崎地区では、防災集団移転促進事業（箱崎）を導入してまちづくりを進めているが、被災した地域住民のコミュニティ活動を支援することを目的に、『(19) 被災者へのコミュニティ活動支援事業』として、集会施設を整備するものである。</p> <p>■ 【業務概要】</p> <p>1 施設概要</p> <p>①施設名称 箱崎集会所</p> <p>②整備箇所 釜石市箱崎町第5地割56番地 (用地は防災集団移転促進事業（箱崎）で整備のため購入不要)</p> <p>③構造 木造1階建</p> <p>④床面積 198.34㎡ (延床面積198.34㎡)</p> <p>2 業務内容</p> <p>実施済</p> <p>①設計費 7,236千円</p> <p>今回要望</p> <p>②工事監理費 3,132千円</p> <p>③建設工事費 64,800千円</p> <p>④し尿浄化槽設置工事費 6,156千円</p> <p>⑤外構工事費 5,400千円</p> <p>今回要望額合計 (②～⑤) 79,488千円</p> <p>全体事業費 86,724千円</p> <p>3 事業実施期間 平成28年11月1日～平成30年3月31日 ※設計終了：平成29年 3月10日 ※着工予定：平成29年 8月 1日</p>	

※ この様式は、原則として、参考様式第 2 0 及び参考様式第 2 3 の別添 2 に記載した細要素事業ごとに作成してください。

※ 「全体事業費」は、細要素事業（当該細要素事業と一体不可分な事業を含む。）について、全体事業期間を通じての全ての事業費を記載して下さい。

※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。

参考様式第30及び参考様式第33の別添3

市街地復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	★ D 15 - 1 - 14
要綱上の事業名称	復興地域づくり加速化事業
細要素事業名	観光交流拠点整備事業（仮称）
全体事業費	186,253千円（149,002千円）
<p>【事業概要、基幹事業との関連性】 釜石市では、鶴住居地区に津波復興拠点整備事業を導入して慰霊や防災・地場産業（漁業）振興を通じた交流拠点整備区域を形成し、市内外の方々の交流をはじめ防災教育や被災地の情報発信機能を有した観光の拠点として計画している（市の復興まちづくり計画の基本目標「人やもの、情報の交流拠点づくり」として位置付）。 本事業では、平成27年度に世界遺産登録された橋野鉄鉱山や三陸復興国立公園、三陸ジオパーク等への観光客誘致の拠点としての機能を持たせ、観光面からの生業再生を促進しようとするため、海産物を中心とした産直、コミュニティスペースを活用した地元料理を提供するコミュニティレストラン、トイレを有した観光交流拠点を整備するものである。</p> <p>1. 施設概要</p> <p>(1) 施設名称 鶴住居地区観光交流拠点施設（仮称） (2) 整備箇所 釜石市鶴住居町第16地割地内 (3) 構造 木造平屋建 (4) 床面積 約470㎡</p> <p>2. 業務内容</p> <p>(1) 設計・監理 26,268千円 ①基本設計 4,418千円（今回要望額） ②実施設計 15,110千円 ③工事監理 6,740千円</p> <p>(2) 施設整備 159,985千円 ①産直（水産物）・物販スペース：約146㎡ ②交流スペース（観光交通情報案内、コミュニティレストラン）：約111㎡ ③事務スペース（倉庫、事務所用トイレ含む）：約76㎡ ④トイレ：約41㎡ ⑤通路等（搬入路、風除室含む）：約96㎡</p> <p>※ただし、実施設計により、工事費等は変更の予定があります。</p> <p>3. 事業実施期間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本設計：平成29年5月8日～29年7月31日 ・実施設計：平成29年8月1日～29年11月30日 ・施設整備：平成29年12月1日～31年3月31日 	

※ この様式は、原則として、参考様式第30及び参考様式第33の別添2に記載した細要素事業ごとに作成してください。

※ 「全体事業費」は、細要素事業（当該細要素事業と一体不可分な事業を含む。）について、全体事業期間を通じての全ての事業費を記載して下さい。

※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。